

新座市指定管理者制度導入施設管理状況評価シート（令和6年度分）

【施設の概要】（所管部記入）

施設名	老人福祉センター（愛称：えがおの里）、第二老人福祉センター（愛称：元気の里）			
所在地	新座市堀ノ内2-3-45、新座市大和田4-18-41	所管部署	いきいき健康部 長寿はつらつ課	
制度導入年度	平成18年度	選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 / <input type="checkbox"/> 指名	
指定管理者	名称	帝国ビル管理協同組合	所在地	東京都豊島区豊玉上2-25-9
	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）		

【事業概要】（指定管理者記入）

事業概要	<p>令和6年度事業は、新型コロナウイルス感染予防以前の状態に戻り、マスクの着用や利用人数の制限をすることなく事業を推進することができました。</p> <p>イベント事業は、昨年同様6月の「福祉フェスティバルへの参加」、7月の「七夕会」、9月の「敬老の日の集い」、11月の作品展覧会、12月の「クリスマス会」、1月の「新春レクリエーション」、3月の「サークル実技発表会」と全て予定通り実施することができました。</p> <p>その結果、令和6年度の利用者総数は、令和5年度と比較すると、えがおの里が49,022名から49,118名とほぼ横這い、元気の里が53,820名から57,419名の約6.7%増となりました。</p>
特筆事項	<p>令和6年度、各センターの取組として「えがおの里」では、毎日続けられる高齢者向け健康体操として「えがおの里体操」を実施し、本年度261回延べ4,056名の高齢者に参加頂きました。デジタルデバйд解消に向けた取組の一環として、「スマホ教室」「PC教室」に加え、利用者との距離を縮め気軽にスマホ相談に応じられる環境として「スマホえがおサポート隊」を事務所に常設し、年間で481件をスタッフ全員で対応しました。また「えがおの里LINE公式アカウント」を運営し、これまで累計272名の利用者のスマートフォンに「友達登録」してもらいトピックスやイベント情報などの情報を発信しました。</p> <p>「元気の里」では、地域との連携で、6月に十文字学園女子大学の「食事と運動」に関する実習を、7月に同じく十文字学園女子大学の「健康運動講座」を実施、10月に「大和田三・四丁目敬老祝賀会」の実施をサポートしました。</p> <p>市事業への協力では、長寿はつらつ課長寿医療係「健康講話」、介護保険課「健康長寿ポイント事業」の実施について年度を通してサポートするとともに、5月に「うごくま」効果測定会、10月に介護保険課「医療介護の市民講座」、12月に新座市交通安全母の会主催の「お逢着訪問大作戦」、2月に市老連「麻雀大会」、3月介護保険課「健康ぶらす教室」の実施について協力して実施しました。</p>

【総合評価】

指定管理者の自己評価				
総合評価	S	<input type="checkbox"/>	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	<input checked="" type="checkbox"/>	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	<input type="checkbox"/>	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	<p>令和6年度の事業計画書に基づき、基本協定、業務仕様書・事務マニュアルで規定されている内容に沿って各種業務を遂行してまいりました。</p> <p>本年度は両センター共に高齢者のデジタルデバйд解消の一環として、スマホ教室、パソコン教室を充実してまいりました。えがおの里では、教室以外でも、何でも気軽に質問できるような環境を整え、また、元気の里ではSNS環境に慣れて頂くようFacebookでの情報発信を積極的に行ってまいりました。</p> <p>これからも、利用者の皆さんとの良好な関係を維持し、利用者の皆さんが安全で安心できる施設運営を行ってまいります。</p>			
改善策	※ 評価Bの場合のみ記入			

市の評価				
総合評価	S	<input type="checkbox"/>	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	<input checked="" type="checkbox"/>	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	<input type="checkbox"/>	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	<p>事業計画に基づき、利用者の健康づくりや生きがいづくりの場を提供する中で、様々な利用者のニーズに柔軟に対応した運営を行っている。高齢者の活動の場が増え、選択肢が増える中で、施設利用者数が増加していることから、積極的な地域との関わりや広報活動、魅力のある事業を行ってきたと評価できる。</p> <p>施設の管理においては、法令等の遵守、職員の献身的な日常点検による異常の早期発見や応急処置により、設備を適切に管理し、老朽化した施設であるにも関わらず安定して安全な施設運営を行っている。また、施設内の巡回や声かけを行うなど、利用者の異変の早期発見を心掛け、事故の防止にも注力した。</p> <p>また、パソコン教室やスマホ教室、SNSでの情報発信など、利用者や時代の変化に合わせた事業も提供してきており、今後も利用者の声に耳を傾けた取組を期待したい。</p>			

【市の評価を受けた今後の取組や改善策等】（指定管理者記入）

令和6年度、両センターの事業運営全般に関しては、自己評価同様、市の総合評価に於いても「適正」との判断を受けましたが、引き続き、利用者のご要望にお応えできるよう日々の業務に努めてまいります。

高齢者に対するパソコン教室やスマホ教室などのデジタルデバイドに関する取り組みに対して一定の評価を頂きましたが、市主催事業に対する両館の対応に齟齬があり、スムーズな事業実施に支障も見られたことから、今後は、両館のコミュニケーションを十分に行い、統一した対応が図れるよう情報共有に取り組んでまいります。更に、経費の取扱いに関しても、引き続き節減に努めてまいります。

今後とも、市及び地域住民の皆様との連携を大切にし、公共施設としての使命を果たしてまいります。

【過年度の評価結果まとめ】（所管部記入）

評価区分	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	年度 (年目)	年度 (年目)
指定管理者の自己評価	A	A	A		
市の評価	A	A	A		